

I はじめに

私たちは、大気、水、生物などが網目のようにつながった地球の環境の中で他の生物とともに生きており、この地球上の自然の恵みを受けて、経済的、社会的活動を営んできました。

しかし、今、大量生産、大量消費、大量廃棄や効率性、利便性の追求の結果として、地球温暖化、廃棄物の排出量の増大といった課題に直面しています。

こうした問題の多くは、日々の暮らしに深く関わっており、その解決のためには、私たち一人ひとりが環境問題に関心を持ち、環境保全に対する理解を深め、自ら進んで環境保全活動に取り組むことが大切です。

このため、県では、平成 18 年 3 月に「富山県環境教育推進方針」を策定し、持続可能な社会づくりに「主体的に参加する人づくり」と、環境保全活動の「取組みが広がる仕組みづくり」を推進しているところです。

環境教育については、知識の習得や理解にとどまらず、自ら行動できる人材を育てることが大切です。人間と環境の関わりについての正しい認識に立ち、自らの責任ある行動を持って、持続可能な社会づくりに主体的に参画できる人材を育てるためのツールとして、プログラム集を取りまとめました。

今回のプログラム集は、最も身近な環境保全活動の場である家庭での「エコライフ」と、児童館や公民館など地域での「環境保全活動」をテーマとして構成しています。みんなで考え、共有し、今後の具体的な取り組みにつなげることができる、手軽なプログラムを中心に集めました。大人も子どもも一緒になって活動し、取り組むことのできる内容となっています。

なお、掲載している 18 のプログラムは、NPO 団体とやま国際理解教育研究会に委託し、県内の環境保全活動に取り組まれている NPO 団体が実際に活動の場で実施しておられるものを収集整理していただいたものです。また、家庭や地域の活動で使いやすいように、児童館や公民館の関係の皆様のご意見も伺いながら一部工夫を加えています。

このプログラム集が活用され、身近なところからの取組みが始まることで、エコライフの推進と環境保全活動の実践が図られることを期待しています。

最後に、プログラムをご提供いただいた NPO の皆様、プログラムの収集整理にあたっていただいたとやま国際理解教育研究会代表 定村誠氏、プログラム集に貴重なご意見をいただいた富山県こどもみらい館及び富山県公民館連合会の皆様に、心から感謝申し上げます。

平成 19 年 3 月

富山県生活環境文化部環境政策課

【プログラム集を活用するにあたっての注意点】

- ・ 本プログラム集の記載内容は、NPO の皆様からご提供いただいた現時点（平成 19 年 3 月）での情報が基になっています。
- ・ 本やインターネットの引用の記載はあくまで例の一つです。また、情報については、できる限り複数のデータ等で確認したり、信頼できる公的な機関等が出しているデータ等を利用したりするなどしていますが、絶対的なものではありません。